

<パリ・ソルボンヌ大学 INSPE 交流（見学・実地体験）報告>

3月に交流協定を締結したパリ・ソルボンヌ大学 INSPE（教職大学院）と、教育学部教員（大庭三枝准教授）と同学部保育コース4年の学生2人が現地で交流しました（2024年4月22～24日）。



INSPE フリュジェール大学院長やお世話になった教職員の方々と（大学院長室外のバルコニーにて）



INSPE 正面入り口（教室棟）にて（この奥につながる大学院宿舍に期間中滞在）

22日の朝到着、INSPE内の宿舍に荷物を置き学生カフェテリアでの昼食もそこそこに、市内保育学校（3～5歳）での実地体験に向かいました。子どもたちの生き生きとした作品であふれる校内見学では、各クラス（概ね25人）に担任とATSEM（補助員）の大人が2人おり、給食・午睡などはATSEMが担当するが担任とよく連携をしながら

子どもの状態を把握することが大切で、午睡後は目覚め具合に応じて子どもの話を個別にじっくり聞くチャンスであり発語を促す、と校長先生が話してくださいました。その後、中庭で遊ぶ子どもたちと触れ合ううちにほとんどの子を巻き込んだ大きなかけっこやおしくらまんじゅうのような遊びが始まりました。学生たちは非言語コミュニケーションの重要性を痛感するとともに、異文化の子どもたちと遊ぶ貴重な体験をすることができました。



23日は午前中、市内小学校にて4年生のフランス語の授業に、INSPEの先生方・学生たちとともに観察参加しました。教材としてハーマン・メルヴィルの「白鯨」が取り上げられ、個の読解から協同的な作品理解への発展を絵に表現してまとめる過程（約2時間）を見学しました。難しい単語の意味を前後の文脈から読み取り、文章から得られる人物のイメージ等を話し合いながら絵にまとめた後質疑応答が交わされ、作品理解を文章だけでなく様々なやり方（友達との意見交流、描画など）で「表現」する授業はとても活気に満ちていました。

INSPEに戻り、午後は現職初等教育教員（保育学校・小学校）対象の音楽授業に参加、まず準備体操は身体各部分だけでなく表情筋も含めて行いました。チャイコフスキーの「くるみ割り人形」を題材に、歴史的背景やバレエ舞台・衣装の変遷、ストーリーを概括した後、全員が分担して登場人物になりきり音楽に合わせて動くと「オーケストラの各楽器の音が重なるように、他者の表現と自分の表現の重なり合いを体感する」ことができました。ゲストティーチングとして、フランスの童謡から応用変化した日本の手遊びを大庭がフランス語で解説指導したところ、笑顔が

あふれ参加者に大好評でした。



(午前)



(午後)

24日午前は、INPSEに隣接する小学校1年の音楽の授業に、INSPEの学生たちとともに見学参加しました。「水」がテーマのこの日、担任の先生から水の三態（気体・液体・固体）を題材とした絵本を読んでもらい、川や雲などの写真を大型スクリーンで見て「水の旅（循環）」を理解した後、小学校と建物がつながるINSPE音楽室に移動、INSPE教員による授業は体をほぐす準備体操から始まりました。4種類の絵画（葛飾北斎の浮世絵もあり！）から水のイメージを膨らませ、流す音楽はどの絵を連想させるか話し合いました。「先生は子どもから丁寧に水のイメージを聞き出し、受け止めていた。それぞれの絵や音楽の感じ方や意見に間違いはないと学び、安心して感性や見方を豊かにすることができる。」と学生たちは学んでいます。ここでもゲストティーチングが行われ、大庭の指導に学生がピアノ伴奏をつけると、子どもたち・INSPE学生たちは音楽にのせて手遊びを満喫し、帰る前に「楽しかった」とわざわざ言いに来てくれる子もいました。「この授業は音楽だけど絵から感じたり体操をしたり、様々な角度から音楽にアプローチすることでどの子も興味を持ち、楽しい時間となった。活動を多角的に捉える（刺激する）ことで子どもたちの興味関心のきっかけを作ることができるのだ」と参加学生は感想を述べています。授業後の担任の先生・INSPE教員・学生の振り返りでは、「感じたことを子どもに問いかけ、彼らが自分で考え意見を伝える場を尊重すると言語表現の発達にもつながる」という担任の解説を聴き、横断的に働きかけるという有意義な学びを得ました。





(この後、大勢の教職員の方々に見送られ、大庭と2人の学生は、4月25-26日開催される OMEP Europe Conference に参加のためスウェーデンに移動しました。)



大庭と共同研究発表を行ったザグレブ大学他の先生方（大会に参加したザグレブ大学・FCU 学生とともに）

交流期間中打ち合わせにて、6月17日（月）に実施されるパリ・ソルボンヌ大学主催国際シンポジウム「保育学校における教育と教員養成を国内外の視点から考える」（対面とオンライン併用）に、大庭がキーノートスピーチを行うことが決まりました。学生・教員ともに充実した交流が行われており、今後ますますの発展が期待されます。

JOURNÉE D'ÉTUDE INTERNATIONALE
Penser l'éducation et la formation à l'école maternelle, en France et à l'étranger
Lundi 17 juin 2024 – INSPE Paris Molitor



La parution du nouveau Plan Maternelle (janvier 2023) et la réécriture des programmes en cours pour le cycle 1 semble attirer un peu plus l'attention sur une école maternelle trop souvent déconsidérée.

Avec la création d'une UE maternelle puis d'une mission maternelle (2023), l'INSPE de Paris a voulu marquer son attachement et son intérêt pour l'école maternelle et ses spécificités souvent mal (re)connues. Plusieurs axes dans le cadre de la mission ont été définis en lien avec les formations initiales et continues, avec les partenariats nationaux et internationaux et avec la recherche.

C'est dans ce dernier cadre que l'INSPE de Paris propose une première journée d'étude permettant de réunir des formateurs/chercheurs de l'institution parisienne mais aussi d'autres académies, dans des domaines d'expertise variés.

L'institution a aussi souhaité, dans le cadre de partenariat avec l'international, inviter deux collègues pour présenter les politiques éducatives chez les jeunes enfants au Japon et au Québec, à titre informatif mais aussi comparatif.

Cette Journée d'étude est organisée par Fabrice Delahut, responsable de la mission maternelle, avec le soutien de l'INSPE de l'Académie de Paris et de l'AGEEM.



- 9h - 9h30 : Ouverture / État des lieux**
- Accueil des participants
 - Alain FRUGIERE (Directeur de l'inspe de Paris)
- 9h30 - 10h30 : Comparaison internationale 1 : Japon**
- Mie OBA (Fukuyama City University, Faculty of Education) : *Le système japonais de la petite enfance et ses caractéristiques à Hiroshima*. (En visioconférence)
- Pause**
- 11h00 - 12h30 / Session 1 : Chercheurs INSPE**
- Pauline BEAUPOIL-HOURDEL : *Le langage adressé à l'élève en maternelle (en français et en anglais)*
 - Marie-Noëlle DABESTANI : *La petite fabrique des "cahiers de maternelle" et leurs usages, dans et hors la classe*
- Déjeuner**
- 14h - 15h30 / Session 2 : Chercheurs hors INSPE**
- Stéphanie MAZZA, PU (Laboratoire Reshape - Université Lyon1) : *Sommeil et apprentissages en maternelle*
 - Nathalie BONNETON-BOTTÉ, MCF HDR en Psychologie (LP3C - INSPÉ de Bretagne) : *Préparer et se préparer à écrire au cycle 1*
- Pause**
- 16h - 17h : Comparaison internationale 2 : Québec**
- Geneviève CADORET, PU (UQAM - Département des sciences de l'activité physique) : *Le système éducatif québécois pour la petite enfance*. (En visioconférence)
- 17h - 18h**
- Ghislain LEROY (Université Rennes 2, laboratoire CREAD) : *Enjeux contemporains de la professionnalité à l'école maternelle*